



教育委員会教育部学校教育課

地域や学校などの実態に根ざした 特色ある学校(園)づくり

市では、市立幼稚園、小・中学校における教育目標や教育重点目標の達成を目指すとともに、地域や学校などの実態に根ざした特色ある幼稚園・学校づくりに努めることをねらいとして毎年研究委嘱校を選考しています。

研究委嘱は「学習指導」や「体力向上」、「豊かな心の育成」などを主題として、原則3年間、研究を深めていきます。委嘱校の研究成果や課題などを市内全体で共有し、市全体の教育水準を高めるために、委嘱2年目の学校による中間発表、委嘱3年目の学校による研究発表会を開催します。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参会人数制限のうえ、以下の3校が発表しました。

権現堂川小学校

自ら学び、考え、表現できる児童の育成

長倉小学校

自らの学びを「実感」できる授業の創造

さくら小学校

生き生きと学び、主体的に取り組む児童の育成



一列目左から 赤妻勇さん、赤妻富男さん、小河原操さん
二列目左から 林春日部農林振興センター所長、小河原浩和代表、木村市長、狩野建設経済部長



埼玉県多面的機能支援推進会議 優良事例表彰式

10月19日(火)、埼玉県多面的機能支援推進会議から上宇和田保全組合が優良団体として表彰されました。

組合の小河原浩和代表は、「大変光栄なことです。今後も、さまざまな課題に地域全体で取り組むとともに、多面的機能支援活動を市内全域に広めていきたいと考えています。」と述べられました。



交通ルールを学ぼう！ 第三保育所 交通安全教室



10月13日(水)、幸手市立第三保育所で交通安全教室が開催されました。

子どもたちは、形を組み合わせる信号機をつくったり、カエルの歌にのせて横断歩道の渡り方を学んだり、楽しく交通ルールを学ぶことができました。



ヒラメから学ぶ、いのちの授業

10月25日(月)、幸手市立さかえ小学校でヒラメの贈呈式が行われました。「さかえタイム(総合的な学習の時間)」で、食育について学んできた5年生の子どもたちは、命の大切さを学ぶため、ヒラメの陸上養殖にチャレンジします。

NPO法人日本養殖振興会代表理事の齊藤浩一さん(幸手市在住)から、ヒラメの飼育の仕方、陸上養殖について学び、体験を通じて、「いのち」について学びを深めていきます。



第50回関東甲信越中学校道德教育研究大会埼玉大会

in 幸手中学校

幸手市立幸手中学校を会場に、10月22日(金)に第50回関東甲信越中学校道德教育研究大会埼玉大会、第60回埼玉県道德教育研究大会幸手大会が開催されました。

幸手中学校では、「人としての生き方についての考えを深め、よりよく生きる生徒を育てる道德教育の創造」をテーマに研究を推進し、教育活動の充実に力を入れてきました。

オンライン型と集合型により、1都6県から多くの教育関係者を招待し、研究協議や指導者による指導講評、講演会を配信するなど、ICT機器を十分に活用した開催となりました。

島方勝弘幸手中学校長は「昨年の千葉大会は中止となり残念でしたので、今年度の埼玉大会を何とか開催し、教育の灯を絶やさないように工夫して取り組んでまいりました。今後も関東地区を代表する中学校として、生徒によりよく生きる力を育成していきたい。」と話されました。



若草俳句会

「爽やか・鉦叩」

爽やかな

明日迎えたき床に入る

木下かつゑ・五霞町元栗橋

さわやか

作業の後の畑を見る

知久和子・五霞町川妻

爽やか

子らも交えて朝体操

永田民子・幸手市南

和音から

はじめるピアノ鉦叩

進藤洋二郎・幸手市緑台

リハビリの

足腰軽く爽やかに

吉羽安子・幸手市外国府間

路地裏を

風爽やかに渡りけり

鴨田とし子・幸手市中

寝起きて

鳴り止まぬ鉦叩

日下部よし枝・幸手市牧野地

燎原短歌会

人は人で

磨かれしとやわが一生に

関わりし人

人想いおり

古賀富美枝・中三

戸をくれば

初冬の庭に木瓜の花

くつきり開花

朝かげに光る

澤田俊子・緑台一

グアグアと

横断歩道に待っている

鴨よ左右を

よく見て渡れ

中村孝子・南三

下草の

刈られてゆるる藤袴

たて札ありて

保護されをりぬ

尾上喜子・栄六

五位鶯の

五位の位を賜りて

動かぬ姿

川面に映す

野口と志子・東五

